

## 総合的な学習の時間 「みんなが住みやすい町 富士見台」

川崎市立富士見台小学校



### 単元（題材）目標

- 自分たちの住んでいる町には様々な立場の人が生活していることを調べ学習や体験活動を通して理解を深め、他の人を思いやったり、支え合って生きていこうとしたりする気持ちを育てる。
- さらに自分たちの町を住みやすくするためにどのような関わりができるのかを考えることを通して、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育成する。

### （1）実施時期

令和元年9月中旬

### （2）対象（学年等・人数）

第4学年 156名

### （3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：6名

外部講師：手話サークル「手の花」4名

### （4）実施内容

- ①講演会：「聴覚障がいについて知ろう」（学年全体）
  - ・自己紹介 ・豊学校について ・聴覚障がいについて ・コミュニケーションの方法などについて、4名の方から話を聞く。（手話通訳あり）
- ②手話体験：「手話について学ぼう」（各学級に講師1名〈聴覚障がいの方〉）
  - （1）手話を使ってみよう
    - ・あいさつ、自分の名前 ・質問コーナー
  - （2）その他のコミュニケーション方法を知ろう
    - ・児童3人1組で活動 ・口話、身振り、空書を使いクイズ

### （5）成果

- 簡単な手話の挨拶を知り、実際に試してみることで手話に対する理解が深まった。
- 聴覚障がいのある方とコミュニケーションをとることに難しさを感じていた児童も、手話だけでなく「口話、身振り、空書」を学び積極的に講師の方々に話しかける様子が見られた。  
〈児童感想、一部抜粋〉
  - ・周りの人と助け合うことが、みんなが住みやすい町になるための第一歩だとわかった。  
学んだことを通して、今自分にできることをしていきたい。

### （6）その他

- 総合的な学習の時間に福祉学習を位置づけ、体験的な活動として視覚障がい者や聴覚障がい者、また彼らを支えるボランティアの方を講師に招き学習を展開した。